

第3章 中心市街地活性化の目標

1 中心市街地活性化の基本方針

旧基本計画においては、中心市街地活性化の基本方針として、「生活支援機能が享受でき、快適で安心して暮らせるまちづくり」「個性的な商業の活性化に加え、歴史的資源を活かした、様々な人々が行き交い賑わうまちづくり」を掲げています。

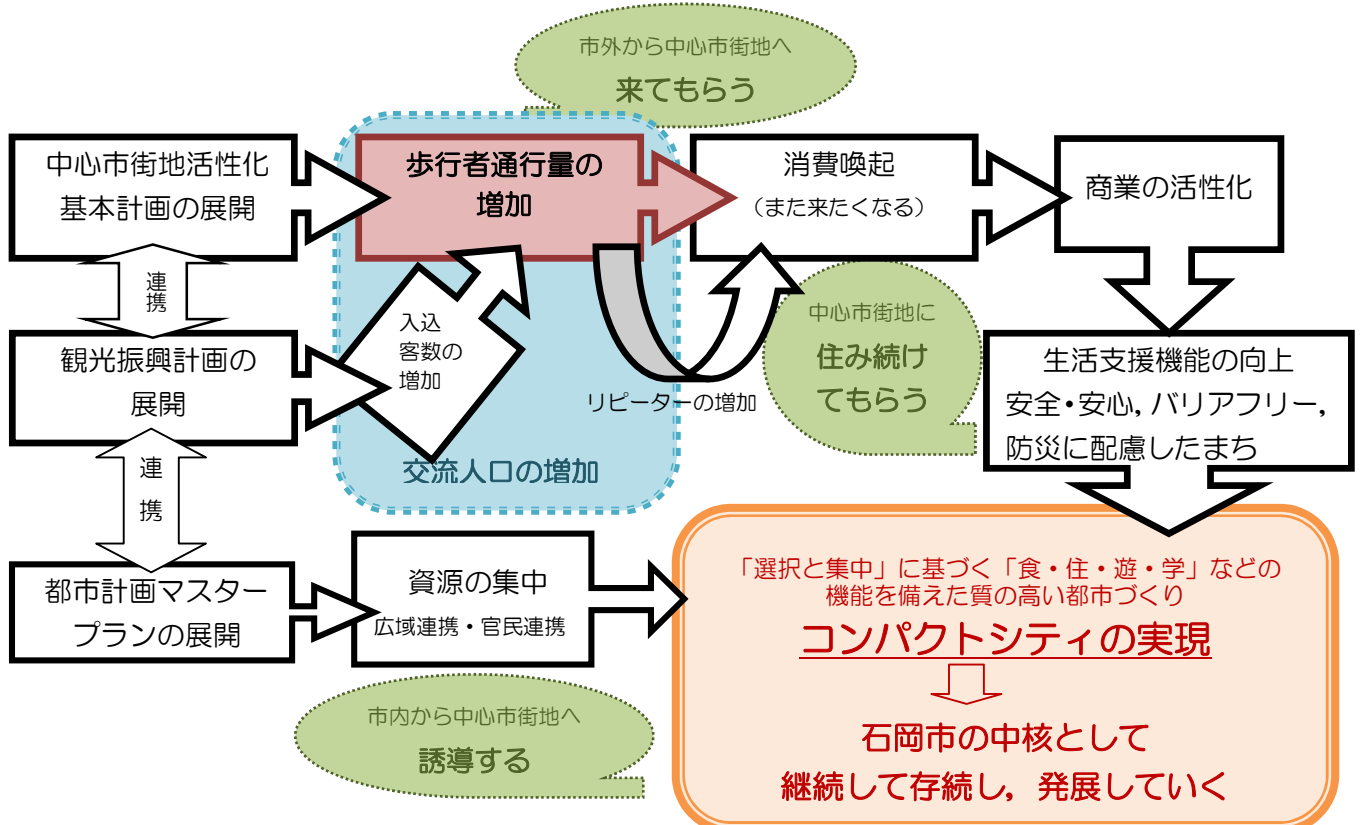
新しい基本計画においても、「中心市街地に住む市民」「中心市街地以外の市民」を引き続きメインターゲットとするほか、来街者を増やし、その満足度を高め、再訪率を高めることを目指し、以下のとおり基本方針を引き続き継続して掲げます。

●中心市街地活性化の基本方針

1. 生活支援機能が享受でき、快適で安心して暮らせるまちづくり
2. 個性的な商業の活性化に加え、歴史的資源を活かした、様々な人々が行き交い賑わうまちづくり

特に、全市的な（あるいは全国的な）人口減少・少子高齢化という課題がある中、現在の中心市街地は「住み続けにくい地域」となっていると考えられます。これを「住み続けやすいまち」にするために、以下のようなルートでの中心市街地活性化を目指します。

◎中心市街地活性化へのルート（基本方針を実現するために）



2 目標像

生活支援機能の向上には地域商業の活性化が必要ですが、そのためには個店の魅力アップや来店価値を上げる取り組みに加え、絶対的な歩行者通行量の増加が欠かせません。そのため平成32年までに歩行者通行量の増加として約2,800人に目標を設定し、交流人口を増加させ、「また来たくなる」ために必要な事業を、新たな基本計画に位置づけ、実施していきます。

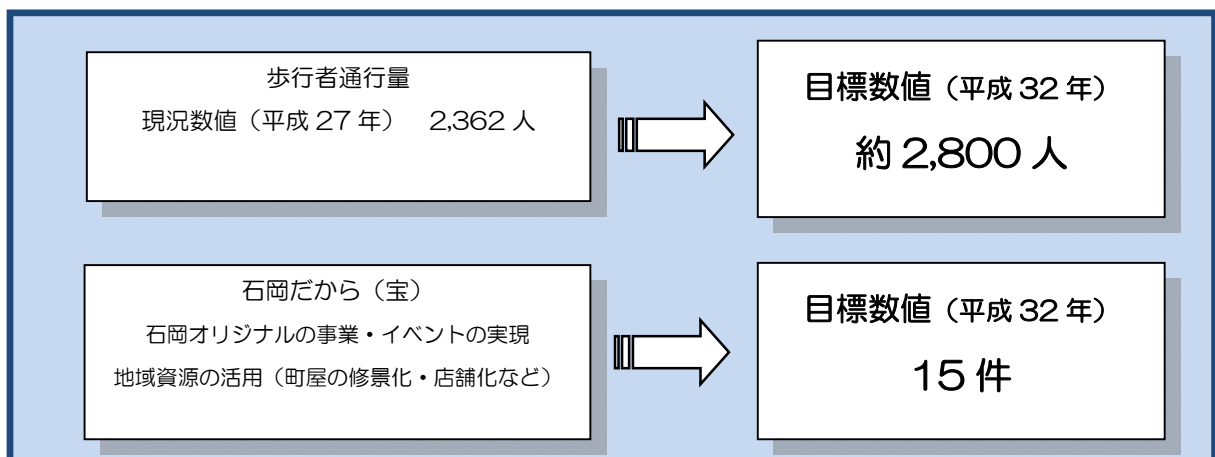
また、中心市街地活性化の実現には様々な施策を複合的に行うことが必要であり、特にその当事者にとって、施策の具体的な成果を実感することが難しいことも多く、自らの活動に魅力を感じない、誇りを持たないという「事業の継続における動機づけ」が難しい面があります。

そこで、新たに「資源活用」を観点とした、「石岡だから(宝)」を目標として掲げ、さまざまな取り組みの実施自体を「資源」として捉え、「中心市街地活性化に向けた取り組みの実践」＝「宝を掘り起こしていく」ことにより、地域及びそこでの活動における「誇りを手にする」活動を重ねていくことで、中心市街地の活性化を図ります。

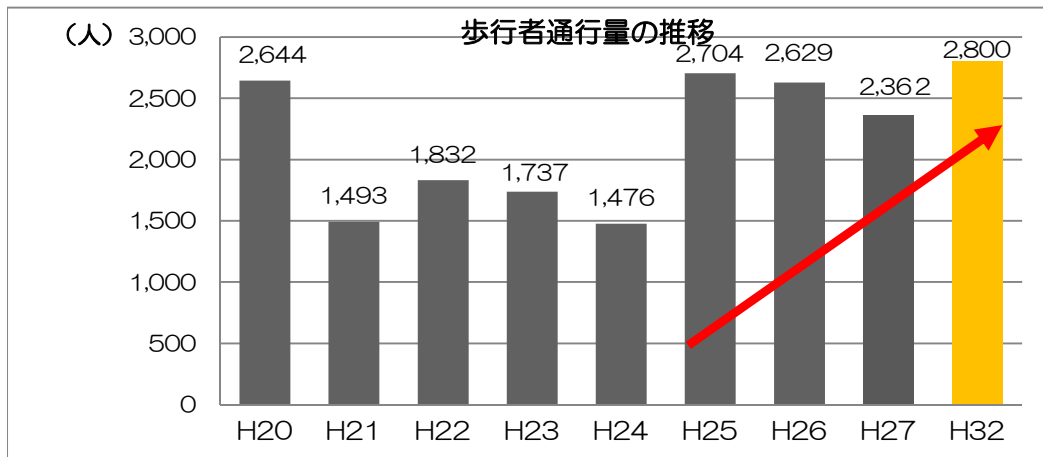
●中心市街地活性化の目標

1. 交流人口の増加
2. 資源活用（石岡だから（宝））の実現

○目標値



○歩行者通行量の推移と目標値



※目標値は平成25年から平成27年までの歩行者通行量の平均値を約10%増にして設定